

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

December / 8 / 2017 # 57

---

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『第九』

[2] Pepeのひとりごと

『持ち替え人』

[3] おすすめ動画

『Gomalan Brass Quintet + Davide Cabassi DEMO 2017』

『Warm up with Sarah Willis and Gábor Tarkövi - Trailer』

[4] 演奏のヒント！

『リップスラーの注意ポイント』

[5] 編集後記

---

[1] 旬な話題、気になる話題

『第九』

12月に入り、今年も「第九」—Beethoven作曲の交響曲第9番—の演奏機会が増える時期になりました。

もうすでに1回演りましたが、僕のオーケストラでは、あと3回ほどあるようです。 :)

毎回違うソリスト、合唱、指揮者での演奏なので、いろいろな楽しみはあります。

しかし、Tromboneは2楽章と4楽章だけの出番。  
先日やったのは4楽章のみだったので楽でしたが、待つことも  
なかなか大変です。 ;)

この曲はAlto Tromboneで演奏するのですが、今週の定期公演でも  
出番がSchumannの曲のみで、2曲ともAlto Tromboneで演奏します。  
来週は第九のコンサートだけなので、しばらくはAlto Tromboneだけ  
での出番となっています。

なかなか他の楽器の練習時間が取りにくくなっていますが、いろいろと  
賢く過ごしていこうと思っています。 ;)

12月に入り、今年も「第九」ーBeethoven作曲の交響曲第9番一の  
演奏機会が増える時期になりました。  
もうすでに1回演りましたが、僕のオーケストラでは、あと3回ほど  
あるようです。 ;)

毎回違うソリスト、合唱、指揮者での演奏なので、いろいろな  
楽しみはあります。

しかし、Tromboneは2楽章と4楽章だけの出番。  
先日やったのは4楽章のみだったので楽でしたが、待つことも  
なかなか大変です。 ;)

この曲はAlto Tromboneで演奏するのですが、今週の定期公演でも  
出番がSchumannの曲のみで、2曲ともAlto Tromboneで演奏します。  
来週は第九のコンサートだけなので、しばらくはAlto Tromboneだけ  
での出番となっています。

なかなか他の楽器の練習時間が取りにくくなっていますが、いろいろと  
賢く過ごしていこうと思っています。 ;)

## [2] Pepeのひとりごと

### 『持ち替え人』

僕はTenor Trombone、Alto Trombone、そしてEuphoniumの3つの  
楽器を普段から演奏しています。

僕は、その楽器を吹くときには常にその楽器でウォームアップや準備を  
していますが、Trumpet吹きなど、普段からいくつかの楽器を  
持ち替えているみなさんは、どうしていますか？

中には「ウォームアップのときにはこの楽器で」と決めている人もいます。

「メインの楽器」というものを決めている人にはそれでいいと思います（例えばTrumpetの人で言うと、B♭管とか）。

このように設定をした場合、メイン以外の他の楽器は「サブ」になってしまいますよね？

僕は、自分の演奏する楽器は全てメイン楽器として捉えているので、その楽器を演奏するときにはその楽器でウォームアップや準備をやるようにしています。

例えば、Alto Tromboneに対して苦手意識のある人は、Alto Tromboneでしっかり練習（ウォームアップを含めた音階などの基礎練習）をやってみることをオススメします。

苦手な楽器を「メイン楽器」だと思ってやる練習、ぜひ試してみてくださいね～。

### [3] おすすめ動画

『Gomalan Brass Quintet + Davide Cabassi DEMO 2017』

<https://www.youtube.com/watch?v=Y4oZjUa9Fss&index=1&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg>

今回1つ目の動画は、僕のお気に入りのブラス・クインテットの一つ、Gomalan Brass Quintetの新しい動画です。

こういう演奏を聴くと、アンサンブルやりたいなあ～という気持ちが大きくなってきます。:)

まだ生では聴いたことがないので、ぜひ一度コンサートで聴いてみたいと思っています。:)

『Warm up with Sarah Willis and Gábor Tarkövi - Trailer』

<https://www.youtube.com/watch?v=d7BgFDlcxTA&index=2&t=11s&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg>

2つ目の動画は、ベルリン・フィルの首席TrumpetのGábor Tarkövi、HornのSarah Willis両氏の二人の対話の動画です。

この中で僕が興味を持った話題は、

「どこまでがウォームアップでどこからが練習（基礎練習）？」

でした。

これ、僕自身は常に自分の中に持っているのですが、自分が興味のあるプレイヤーがどのように捉えているのか、考えているのかには興味があります。

みなさんが、どうですか??

(残念ながら、動画内でこの話題についての答えのようなものは言っていません)

#### [4] 演奏のヒント!

##### 『リップスラーの注意ポイント』

みなさん、リップスラーのときに音程のことは気にしていますか?  
これ、とても大切なことだと思います。

以前にも書いたことがあると思うのですが、リップスラーの練習をしているときは、音を動かすことに意識が行き過ぎて音程のことまで考えられていない人が多くいます。

音程のコントロールも含めて練習をすると、同じ時間でより深い、より効率的な練習ができますよ。

今回は一つ、数日前のEuphoniumのレッスンのときに見つけた新しい注意ポイントを紹介しますね。

まず、オクターブのリップスラーをやってみましょう (例えば、チューニングのB♭とそのオクターブ下のB♭で)。

そのときに、

- 音程がちゃんとオクターブ取れているか
  - 戻ってきた音が最初の音と同じ音程、音色かどうか
- の2点に注意してみてください。

できましたか?

では次に、その間の音 (F) を入れて、3音でのリップスラーをやってみてください。

どうですか?

その音を入れると、オクターブの音程が崩れたり、オクターブの音程は守ることができても、間の音の音程がちゃんとはまらなかったり、行きと帰りで違う音程になってしまったりしませんか?

それらをコントロールできるように気をつけながらリップスラーの練習をすると、ますますのめり込んでいきますよ！ :)

最後に、オクターブの間に入れた音は、オクターブの「真ん中」の音ではないですから、ご注意ください！！

\*間に入れた音は、下から数えて5つ目、上から数えて4つ目です

---

#### 編集後記

ずいぶん寒くなってきましたが、みなさん、体調など崩さないで元気に過ごせていますか？

僕は、なんとか今のところは元気に過ごせています！  
これからはインフルエンザも本格的に流行ってきそうですし、  
いっそうの予防が必要になってきますね。

来年1月と2月はスケジュールがとてもハードになる予定なので、  
この12月にあるお休みの日は有効に使っていきたいなあ、と  
今からお休みの日を楽しみに過ごしています（笑）。 :D

本文中にも書きましたが、日本の12月といえば「第九」。  
合唱の方がたくさんいるということは、いろいろなウィルスと出会う  
確率も普段よりも断然高くなってきます。  
手洗い、うがいをしっかりと、この冬も元気に乗り切ろうと思います。  
みなさんも、ぜひ元気な状態で年を越しましょうね～！

では、よいお年を～！！（笑）  
また来年！ ;)

---

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト  
<http://www.pepeabe.com>  
ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！  
[info@pepeabe.com](mailto:info@pepeabe.com)

---

©阿部竜之介 『Pepeの視点』  
のバックナンバー、配信停止はこちら  
<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>